

平成 30年 5月 1日

父母の会だより

第37号

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

〈発行責任者〉 豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217
FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



「あひるの子たち～絵描き歌で～」 後藤絹代

目次

1. 平成 30 年度定期総会…………… 1	4. 豊障連行事 ・北ライオンズクラブとの懇親ボーリング大会………… 7 ・はたちのつどい…………… 8
2. 平成 30 年度豊橋障害者(児)団体連合 協議会の要望に対する回答………… 2	5. 友だち紹介…………… 10
3. 父母の会行事 ・クリスマス会…………… 5 ・第5回 Q&A 委員会…………… 6	6. 父母の会児童部 ・児童部ニュース…………… 11 ・スタッフ紹介…………… 12
	7. 今後の主な行事予定・あとがき…… 13

定期総会開催報告

(30.3.24・於：あいトピア)

父母の会の定期総会が開催され、中神会長の挨拶の後、ご来賓の方々のご祝辞・ご紹介、総会議事と進み、事業計画、予算等は無事承認されました。今年は11月にこども発達センター主催の福祉機器展が計画されており、父母の会としても共催させて頂きたいと思っております。みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

会長の挨拶の概要は下記の通りです。

- ・通学前の親の相談会、あゆみ学園「Q&A委員会」やこども発達センター「ゆり組講座」および児童の成長過程を話し合った「児童部座談会」の開催意義。
- ・今年の2月に「県民理解促進事業」の委託を受けて開催したシンポジウム「共生社会の実現を目指して」の開催御礼。
- ・豊橋市として、4月から施行された「障害者コミュニケーション条例」について。
- ・医療的ケアの必要な保育園児等の看護師不足通園支援策として、訪問看護を活用した補助金制度が新設について。
- ・障害者総合支援法の3年後の見直しで4月からの実施項目：重度訪問介護利用者が入院した場合、引き続き馴染みのヘルパーさんの支援や一人暮らしを希望する障害者の支援、65歳で介護保険に移行した場合の1割負担の軽減(ゼロ・償還)措置、補装具の貸与、就労定着支援、居宅訪問型児童発達支援の創設等について。
- ・これからも地道にみんなで協働して明るく住みやすい街づくりの推進について、等。

第二部では、たまも荘障害者生活支援センターのご支援を頂き、記念講演を開催いたしました。

- ・講師：堀田智弘氏（鍼灸マッサージ師・速読術講師）
演題「今あるこの身体を大切にしよう！！」
- ・講師：水野敏子氏（看護師）
演題「ぐずる赤ちゃんをあやすコツ」です。

堀田先生からは、人間の本来持っている回復力を無理なく引き出し、見落とされている身体の反応から回復の糸口を見つけ成果を出す。また、足首の大切さ、股関節の安定、上半身の位置の重要性についてお話ししていただき、常日頃から「らくに動ける」ように身体を保持する、必要性を力説されました。

水野看護師さんからは、ぐずる赤ちゃんを如何に上手にあやすか、そのコツを教えていただきました。

後半はお二人の実技を踏まえた個別指導をしていただき、お母さん方が自分の子どもたちの事について熱心に聞き入っていました。とても参考になったようです。ありがとうございました。



水野先生の講演



堀田先生による触診

30年度の要望書の回答(父母の会関係分)を掲載いたします。ご質問等がありましたら中神までお願いします

平成30年度豊橋障害者(児)団体連合協議会の要望に対する回答

回答課は障害福祉課・他課分は表示

4	医療的ケアに対応できるショートステイおよび放課後等デイサービス、日中一時支援事業の設置・増設をお願いします。
【回答】 医療的ケアに対応できる放課後等デイサービス等は、事業所指定基準上、嘱託医師、看護師等の配置が必要となっており、人員体制確保の面から事業所側として難しい状況にあります。 平成29年度より新たに開始した居宅介護事業者向けの喀痰吸引等研修事業費補助の対象範囲を、放課後等デイサービス事業所、日中一時支援事業所などの通所事業所に従事する介護福祉士へ拡大することを検討してまいります。 また、障害者自立支援協議会においては、このような課題に対して関係機関と協議を重ねながら、引き続き、医療的ケアの必要な障害児者が安心して過ごせる体制づくりに努めてまいります。	

5	障害者のグループホームの拡充整備をお願いします。
【回答】 障害者の地域生活への移行の受け皿となるグループホームの充実は、現行の障害福祉計画(平成27～29年度)においても、重点的に進めるべき基本目標として掲げており、市としても、国庫補助を活用し新たなグループホームの整備を推進したいと考えております。 国及び中核市が行っている施設の新設・増設・改修やスプリンクラー設備設置等に係る施設整備費の補助メニューをお示ししますので、ぜひともご相談・ご活用ください。 またハード面の整備のほかに、グループホームの安定的な運営のため、愛知県の交付要綱に基づく運営費の助成についても継続実施してまいります。	

6	医療的ケアの必要な重心の子どもたちの「地域包括ケアシステム」の構築をお願いします
【回答】 医療的ケアの必要な重心の子ども達に対する支援体制の整備について、「障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業の提供体制の整備並びに自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針(平成29年3月31日付障企発0331第6号通知)」では、平成30年度末までに保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設置するように示されております。 また、平成32年度までに医療的ケア児に対するコーディネーターを配置するよう示されております。今後、既存組織である自立支援協議会の「こども専門部会」を活用し「協議の場」を設け、コーディネーターの配置も併せて検討し、支援体制の構築に繋げてまいりたいと考えています。	

7	「おむつ」支給内容の変更をお願いします。
<p>【回答】</p> <p>現在、国が示している地域生活支援事業実施要綱における日常生活用具支給基準では「紙おむつ等」の種目対象について、紙おむつ、脱脂綿、サラシ、ガーゼが示されており、「おしりふき」については明示されていませんが、事業の目的として地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を実施することができることとなっております。</p> <p>要望のあった「おしりふき」については、乳幼児にとっては衛生面から必要性が高いと考えており、今後、他都市の状況も参考にしながら、支給対象とする方向で検討してまいります。</p>	

8	医療的ケアに対応できる介護職、ヘルパー等の研修制度補助金の見直し拡充をお願いします
<p>【回答】</p> <p>住み慣れた自宅で安心して喀痰吸引のサービス利用が可能となるよう居宅介護サービスにおけるヘルパーの資格取得者の充実を図ってまいりたいと考えています。</p> <p>今年度、新設した喀痰吸引の補助制度の状況（現在の申請者：3事業所、5人）を踏まえ、今後、生活介護事業所の要望を調査し、対象事業所の拡充について検討してまいります。</p>	

福祉部 環境政策課 障害福祉課

9	あいトピアの福祉機器展示コーナーの再開と相談支援体制の充実をお願いします
<p>【回答】</p> <p>祉機器展示コーナーについては、平成16年1月の総合福祉センターのオープン以来、委託により運営してきましたが、近年は利用者数の減少により十分な効果が得られない状況が続いていました。</p> <p>障害者に留まらず高齢者の福祉機器を必要とする方々がホームページや機器を取り扱う販売店での情報取得が容易になってきたことや相談支援事業所やケアマネジャーなど事業所の相談体制も充実してきたことも背景にあると考えており、現時点では、再開等は考えておりません。</p>	

10	アクアリーナ豊橋のプール入場料について障害児者および見守りの場合の減免制度創設をお願いします
<p>【回答】</p> <p>アクアリーナ豊橋は、夏はプール、冬はスケート場として活用しています。</p> <p>ご提案いただきました、個人利用料金の減免についてですが、大会の開催などによる専用利用の場合についてのみ減免規定を設け、個人利用料金については減免せず運用しているところです。</p> <p>しかしながら、東京オリンピック、パラリンピック開催を控え、障がい者スポーツのますますの振興を図る中、施設の利便性の向上も踏まえつつ、本市の状況、他都市の状況を踏まえ利用料金のあり方について検討してまいります。</p>	

11	福祉タクシー助成の増額をお願いします
<p>【回答】</p> <p>福祉タクシーの利用状況は、近年は6割強の利用率で推移しております。利用状況は自動車の保有状況や障害種別や障害の程度など各世帯の状況によって異なります。</p> <p>利用者の現状や障害種別など対象者の範囲や助成額など他都市の状況把握を行いつつ、障害者施策全体の中で助成内容について検討してまいります。</p>	

12	医療的ケアが必要な入学前の子どもたちが地域の保育園等に入園し、訪問看護を受けられるための補助金の創設をお願いします。
<p>【回答】</p> <p>医療的ケアが必要な児童・生徒が通園・通学するためには、保護者が付き添い、喀痰吸引等の医療行為を行うことが受入れ条件とされているため、保護者の負担が大きいことは認識しております。</p> <p>しかしながら、保育園・学校が看護師を配置することは体制整備上難しい状況にあるから、訪問看護ステーションの看護師を保育園等へ派遣することにより保護者の負担軽減が図られること、また他の児童生徒の思いやりの心を育む情操教育にも繋がることを考慮し、訪問看護師の派遣費用助成について予算要求をしてまいりたいと考えています。</p>	

以上

クリスマス会

平成 29 年 12 月 23 日

本年度もあいトピアの多目的ホールをお借りして、東三ブロック父母の会（豊橋・豊川・田原）のクリスマス会が開催されました。

午前の部では、昨年に続き「蒲郡ゴスペルクワイヤ&キッズ」の皆様、毎年ご協力をいただいている「太神楽 小呂比家捻挫さん」「豊川高校チアリーディング部」の皆様、新しく「しんかんみねのいかに振感波音隊 楓っこ」の皆様をゲストにお迎えし、とても見応えのある、盛りだくさんの内容となりました。

午後からはご来賓の方々もお迎えし、こちらも毎年ご協力いただいております「豊橋ユースオーケストラ」の皆様、午前に引き続き「太神楽 小呂比家捻挫さん」「豊川高校チアリーディング部」の皆様をゲストに、大変盛り上がりました。

午前午後合わせて 120 家族、320 名ほどの方の参加があり、ケーキをお土産に持ち帰り、笑顔いっぱいクリスマス会となりました。



蒲郡ゴスペルクワイヤ&キッズの皆様



豊川高校チアリーディング部の皆様



スタッフによる出し物

29年度あゆみ学園 Q&A 第5回目報告

平成30年1月24日実施

今回は、くま組のアンケート結果より「就園・就学について」の内容で開催しました。4名の先輩お母さんから自己紹介の後、質疑応答という形で進めさせて頂きました。他に児童部から3名が参加し、最後に父母の会会長より一言お話しして頂きました。

<地域の小学校の支援級4年 男子>

あゆみ学園⇒幼稚園⇒地域の小学校 ダウン症

成長はゆっくり、10ヶ月でお座り、1歳5ヶ月であゆみ学園に通う頃はずりばい。

幼稚園は、上の子が通っていた園にすんなり入園できた。その頃独歩出来たが長い距離は無理だったので遠足は、同じ年の子全員短くするなど配慮してくれて同じように参加する事が出来た。体幹を鍛える為にホースセラピーを続けている。

小学校でも1年生の10月頃にやっとランドセルが背負えるようになった。

<豊川特支学校小学部4年 男子>

あゆみ学園⇒豊橋特支学校⇒豊川特支学校 ダウン症

豊川在住だが医療的ケアがあり、普通食が食べられなかったため豊橋特支学校に入学。

その後歩けるようになり、ケアも無くなり普通食も食べられるようになったので4年生から豊川特支学校に転校した。

<くすのき特支学校小学部1年 男子>

あゆみ学園⇒高山学園⇒くすのき特支学校 診断名なし

1歳3ヶ月であゆみ学園に入園。当時は座ることも出来なかった。

<豊川の地域の小学校の支援級3年 男子>

あゆみ学園⇒校区外の幼稚園⇒地域の小学校 3C症候群(心臓・小脳・頭蓋骨の頭文字「C」を取った病名)

豊川は介助員が一人ずつ付いてくれるのでとても手厚い。

.....

Q1 高山学園を選んだ理由は？

A1 仕事をしたかったので、母子分離が必要だった。

Q2 いつから仕事を始めた？

A2 ①年少

②小学校1年 9月

Q3 くすのき特支学校へ入る条件はある？

A3 歩けること、それ以外は特になし。おむつは取れてなくても大丈夫。

決定は市がします。家の事情を伝え豊橋特支学校では、学校への送迎が出来ないのでくすのき特支学校のバス通学を希望しました。

現在の1日の流れは、朝バスに乗せ学校が終わったらデイサービスで過ごし18時過ぎに自宅に送ってもらいます。

Q4 地域の特支学級を選んだ理由は？

A4 学年が上がれば健常児との差は広がるので、差の少ないうちは地域で過ごさせたかった。運動量が地域の小学校の方が多かった。

勉強は個別で進めてくれるので特に特支学校と差はない。
学校によってはもちろん先生によっても全然違う。通常級との交流がたくさんある所や特支
学級でみっちり過ごす所もある。
先生が毎年変わることもあり、その度に細かく子供の事を説明するのは大変。
学校選びを先生でも、入学したら代わってしまうこともあるので注意。

Q5 地域の学校から特支学校へ変わる？

A5 家族の希望により転校する場合はある。

子供によっては、学校や教育委員会から毎年のように特支学校への転校の話がでる。
くすのき特支学校は、高校から入学するのは狭き門なので中学から入る子が多い。

まとめ

就園も就学も本人と一緒に何度も行って体験することが大切。
子供の顔を見ていれば、喋れない子でも嬉しそうにしたりしている所を選んであげて
ください。

会長より

数年前までは学校の先生方も障害児について知らない方が多かったが
父母の会などのアピールにより少しずつ認知されて来た。
これからもアピールを続けて行く。

以上

29年度最後のQ&Aでした。
積極的に質問が出て、先輩母も熱心に答えて下さいました。
30年度も続けて行く予定です。

【豊障連行事】

豊障連・北ライオンズクラブ懇親ボーリング大会



平成 30 年 1 月 28 日 岩屋キャノンボール

豊橋北ライオンズクラブさんのご招待による懇親ボーリング大会が岩屋キャノンボールで開催され
ました。今年で 13 回目になり、みんな笑顔で楽しいひと時を過ごしました。
北ライオンズクラブさん、本当にありがとうございます。

豊障連ボーリング大会に参加して

松井 俊裕

1月28日に豊障連ボーリング大会に参加しました。
同じレーンには初めて会った人ばかりだったけど、ストライクがでたら
ハイタッチをして一緒に楽しめました。
ゲームの方は1ゲームにストライク1回、スペアが3回ぐらい出て自分でも
びっくりしました。
結果発表ときは何にも当たらないと思ってたのに飛び賞が当たりびっくりしま
した。嬉しかったです。
また来年も参加したいです。とっても楽しかったボーリング大会でした。

【豊障連行事】

はたちの集い

(30.1.6 : 於 : あいトピア)

1月6日、あいトピアではたちの集いが開催されました。今年は市内で68名の方が新成人を迎えられました。父母の会の会員の方は4名です。

お名前は

金子未来さん、中山 華さん、三浦竜之助さん、

ミヤハライワイカミラエミさん、です。

祝！新成人

本当におめでとうございます。カミラエミさんが素敵なパンフレット挿絵（詩とイラスト）を描いてくれました。ありがとうございます。

式はお祝いの言葉、記念品贈呈、ご祝辞、記念撮影、交流会と進み、交流会では、カミラエミさんが作詞、作曲された歌を披露してくれて（別紙ご参照）、拍手喝采で終わることが出来ました。今年もみんなでお祝いを祝福できてとても良かったです。おめでとう！！



「平成30年はたちのつどい案内」表紙より

みんなありがとう

作詞：ミヤハラ イワイ カミラ エミ

今日はどんな日になるのかな？ 楽しいこといっぱいあると良いなあ～
そう思いながら一日が始まる Wo Wo Wo
みんなとおしゃべりする時間 みんなと大笑いする時間
それぞれの花びらが重ね合わさって 太陽みたいな花になる

毎日楽しい時間をありがとう 毎日美味しいご飯をありがとう
毎日ステキな笑顔をありがとう 毎日元気が出る力をありがとう

みんなに会えたことで成長できてるんだよ
この出会いにありがとう ありがとう

今日はみんな楽しかったかな？ 少しは分かってあげられたかな？
そう思いながら一日が終わる Wo Wo Wo
ごめんねって思ったり 不安になることもあるけど
みんなのまぶしい光が心をホッコリさせる 明日またがんばれる

いつも面白い時間をありがとう いつも完食してくれてありがとう
いつもステキな輝きをありがとう いつも愛が生まれる力をありがとう

みんなに会えたことで成長できてるんだよ
この出会いにありがとう ありがとう

ここで色々なことを学んだり 色々な発見をしたり
共に失敗を悲しんだり 共に成功を喜んだり
私たちは一人じゃ生きていけないから
あなたが私の生きるための一部になってくれたことに感謝だよ
私たちは幸せ者だね

友だちになってくれてありがとう 大事な人になってくれてありがとう
こんな私を救ってくれてありがとう 私のそばにいてくれてありがとう

みんなに会えたことで成長できてるんだよ
この出会いにありがとう ありがとう

本当に本当にありがとう
みんなに会えて良かった
これからも変わらぬみんなでいようね



児童部ニュース



思いはたしかにつながって

平成19年6月。高校生以下の子どもたちを対象に発足した、父母の会児童部。あれから10年がたち、立ち上げから活動してきたスタッフが、わが子の高等部卒業とともに児童部からも巣立っていきました。(あつ、まだ1名在籍してますが…)

3月、豊橋児童部、豊川児童部、あゆみ学園コーディネーターの先生とで送別会を行いました。(ノナルです)



祝・ご卒業!

バトンタッチ「児童部は私たちにまかせてください！」

4月からの児童部スタッフは9名。
スタッフになってからの期間も、子どもの年齢も学校もそれぞれだけど…いつしよに笑ったり悩んだり、お互いの個性を出しあいながら絆を深めています。
これからの児童部も、子どもたちのために今できることを、私たちがらしく、明るく、元気に、取り組んでいきたいと思ひます。



児童部活動紹介

平成30年度、父母の会児童部は以下の活動を予定しています。

- ★父母の会Q&A委員会
あゆみ学園にて年5回開催
- ★5月ゆり組講座(発達センター)
- ★7月児童部企画(あイトピア)
今年度は座談会を行います
- ★12月父母の会クリスマス会
午前・児童の部の企画運営

これらの行事は、東三ブロックとして、豊川父母の会児童部と共に活動しています。

上記行事等に合わせて、主に平日午前にあゆみ学園にて児童委員会を開催しています。(不定期)

行事の企画や準備だけでなく、学校のこと、進路のこと、時には趣味や仕事など…いろいろな情報交換もしています。



新児童部スタート!

新リーダーより一言

こんにちは。児童部新リーダーの奥平久美子です。
息子・涼太(豊橋特支:中1 性格:超ナイーブ 好きなもの:ドアや車や電車 特徴:いつもあ〜あ〜高い声でみんなを呼んでいます!)

親子共々どうぞよろしくお祈りします。

先輩方が子どもの卒業と共に児童部のスタッフを卒業され、今は隣のページで紹介させていただいたメンバーで活動しています(^ ^)

児童部を立ち上げてくださった先輩方には本当に助けていただいたので、これから少しでも恩返しができるように、と思っています。

私は、知識が豊富な訳でもなく、決断力がある訳でもないの、スタッフ9人で力を合わせて、豊橋の障害を持ったチビっ子達と共に歩んでいきたいと思っています。

そして、若いスタッフ(もちろん子ども年齢で大丈夫ですよ〜(笑))も絶賛大募集中です。

「私もメンバーに入りたい!!」

という方は児童部スタッフにぜひ声をかけてみてくださいね!





スタッフ紹介



奥平久美子

この写真かなりオスマシしています。普段は屈託のない笑顔で話しかけてくれますよ♡子どもたちともすぐに打ち解ける、なんともいえない魅力を持っています。その魅力に集まる交友関係で児童部を盛り上げてくれること間違いなし！！尾崎より



尾崎博美

尾崎さんは、父母の会から児童部を立ち上げて下さったメンバーのひとりです！見ての通り、キレイなお姉さん☆みんなの動き、発言を常に見守ってくれていて、いざという時にサッと動いてくれる頼もしい存在です！奥平より



彦坂有美子

クリスマス会プレゼント交換の番号札、野外訓練会クイズラリーのスタンプ。実は全部彦坂さんの手作りなんです。手間のかかる作業もクールにさらっと引き受けてくれる、アイデアと才能あふれる児童部(田原)の頼もしい人材です。中根より



中根直美

数字もパソコンにも強く、創造力豊かで何でも作れちゃう中根さん。毎回みんなの想像を超えるビックリするものが出来上がってきます！いつもしっかりきっちりこなしてるけど、お酒が入ると面白さ倍増します(笑)彦坂より



二村めぐむ

二村さんは落ち着いていて、異国情緒溢れる感じの魅力的な人です。二村さんがいると児童部に心地よい風が吹きます。みんなが慌てる時も冷静な行動や助言をしてくれます♡井土より



井土景子

ボケている二村と違い、影で児童部を支えているしっかり者の井土さん。やわらかい雰囲気でお癒してくれます(*´艸`*)皆さんも児童部で開催するイベントで見かけた際は癒されて下さいね♡二村より



小山亜弥香

透き通るような美肌。クールな顔立ち。でも笑顔が人懐こくて可愛い小山さん♡大変な事も嫌な顔せずに引き受けてくれる広い心や、豊富な人脈と情報で児童部の活動を盛り上げてくれる行動力も魅力です。鳥島より



山浦千勢

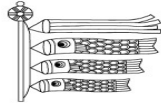
いつも落ち着いていて、ここぞって時にバシッと冷静な判断をしてくれる頼もしい山浦さん。優しい笑顔と温かい心で児童部を支えてくれるお姉さんの存在です。仕事も早く、さりげないフォローで助けてくれます。小山より



鳥島美代子

誰もが羨むようなメガネ美人、鳥島さん。でもそれだけではありません。児童部愛に溢れ、いつも次々とアイデアを出してくれます。さらに、イベントを盛り上げる才能はピカイチ！全てを兼ね備えた頼もしいスタッフです。山浦より





<今後の主な行事予定>



5月16日(水) ○父母の会 Q&A 委員会・あゆみ学園

5月25日(金) ○ゆり組講座・こども発達センター

5月27日(日) 善意フェスティバル・豊橋動植物公園

6月16日(土) 愛肢連定期総会・田原市文化会館

6月23日(土) 豊障連大会・あイトピア

7月 4日(水) ○父母の会 Q&A 委員会・あゆみ学園

7月 7日(土) 児童部座談会・あイトピア

7月22、23日(日、月) 療育訓練会・グリーンホテル三ヶ根

8月19日(日) いきいきフェスタ・ライフポートとよはし

8月25日(土) 豊障連納涼夏祭り・さくらピア

9月12日(水) ○父母の会 Q&A 委員会・あゆみ学園

9月23日(日) 野外訓練会・豊橋動植物公園

9月29日(土) さくらピア避難所体験・さくらピア

○印の参加募集はありません



***予定は順次ご案内いたします**

<あとがき>

・今回の表紙は、後藤絹代さんの作品です。「むすめとうたをうたいながらかきました。」とコメントをいただきました。素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用(1日4時間以上・5,300円)のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみたいと思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、星川広江、磯田周平、尾崎博美、奥平久美子です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。相談先の電話番号は30年度の総会資料をご覧ください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードまたは図書券をプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みでも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。(できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください)

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は 中神 まで電話または FAX かメールご連絡をお願いいたします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : rsa34375@nifty.com